

2017年8月30日

SOMPOホールディングス株式会社

メコン経済圏における「クロスボーダー事故対応サービス」の提供開始

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟）のグループ会社である Sompo Insurance (Thailand) Public Company Limited（以下、「SOMPOタイランド社」）は、2017年9月から、メコン経済圏で国境をまたいで事業活動を行う自動車保険のご契約者に対し、「クロスボーダー事故対応サービス」を開始します。

1. 「クロスボーダー事故対応サービス」開発の背景

メコン経済圏5か国（タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス）では、2015年12月のアセアン経済共同体（AEC）の発足や、広域インフラ整備の進展に伴う経済の一体化により、国境をまたがる人や物の動きが拡大しています。

これらを背景として、タイ国外で発生する自動車事故が増加傾向にあり、タイ国外においても円滑な事故対応サービスに対するお客さまニーズが高まっていることを受け、SOMPOタイランド社は「クロスボーダー事故対応サービス」を開発しました。

2. 「クロスボーダー事故対応サービス」の概要

従来の体制を強化し、タイ国外で発生した自動車保険の事故について、マレーシア・カンボジア・ミャンマー・ラオスの4か国をカバーする高品質な事故対応サービスをご提供します。

具体的には、①24時間365日体制で、②現地語、タイ語または英語により、③現地の事故慣習を熟知した職員が事故対応を行います。また、各国の事故対応体制の強化により、迅速に事故現場へ駆けつけることが可能になります。

3. 今後について

2016年7月にメコン経済圏5か国と中国との間で国境通過規制の相互緩和が合意され、目的地まで積み替えをすることなく一貫輸送を可能とする制度が検討されるなど、メコン経済圏におけるクロスボーダー輸送は今後も加速することが見込まれます。これにより、各国の一貫輸送制度の動向等をふまえて対象国の拡大を検討していきます。

SOMPOタイランド社は「クロスボーダー事故対応サービス」の提供を通じて、メコン経済圏で事業を展開されるお客さまのご期待に応えるとともに、地域の発展に貢献していきます。

以上